

平成31年度 消防本部 業務計画

基本理念 3	安全でやすらぎのある 持続可能な 暮らしづくり
政策目標 1 0	生命や財産が守られるまち

1 平成31年度における部局の経営方針

消防行政の安定的な運営に向けた検討
住民サービスの向上と財政負担の軽減を図るため、新たな消防体制の構築を目指すとともに、災害活動拠点の整備に向けた準備を進めます。

市民への広報を中心とした火災予防啓発
火災の発生を防ぐため、広報活動を中心に市民の防火意識の高揚を図り、安全・安心なまちづくりの推進に努めます。

消防力及び地域防災力の強化と増加する救急需要への対応
大規模災害発生時に、最大限に消防力が発揮できるよう、消防職団員の災害対応能力の向上を図るとともに、超高齢社会の進行とともに増加する救急需要及び高度化する救急業務に適切に対応するため、救急隊員の教育、研修環境を充実させます。

救命処置に関する知識・技術の普及啓発
市民へ救命に関する知識、技術の普及啓発を行うとともに、AED（自動体外式除細動器）設置場所の拡充に努め、救命率の向上を目指します。

災害対応力の強化と質の高い救急サービスの提供
複雑多様化する災害や増加する救急需要に対し、消防職員が効果的に対応できるよう消防活動技術の向上と高度な専門知識の習得に努めます。

2 平成31年度業務の目指すべき方向性と重点事項

超高齢社会の進行や人口減少による収入減などの社会情勢に柔軟に対応できる消防体制を構築するため、寒川町との消防の広域化に向けた準備を進めます。また、大規模災害発生時でも安定した消防活動が可能となるよう老朽化した消防署本署の再整備の準備を進めます。

火災の発生を防ぐとともに火災による被害の軽減を図るため、市民の防火意識高揚に向けて火災予防に関する情報を発信していきます。火災による死者数は、年齢が高くなるにつれて増える傾向があることから、高齢者世帯を中心とした住宅防火対策を進めます。

あらゆる災害に対応できるよう訓練や研修を実施し、消防力の強化を目指します。また、消防部隊と消防団との連携をさらに深め、地域防災力の充実強化を目指します。

高齢者人口の増加とともに増えている救急需要に的確に対応するとともに、質の高い救急サービスの提供を目指して救急隊員の教育、研修環境を整備します。

あらゆる災害に的確、迅速に対応するため、部隊への出動指令、災害情報の管理を支援する消防緊急通信指令システムを適切に維持管理し、システムの安定運用に努めます。

救命率の向上のため、各種救命講習会の受講者数を増やし救命に関する知識・技術の普及に努めるとともに、救命処置に効果のあるAEDの設置箇所拡充を目指します。

あらゆる災害から市民の生命、財産を守るため、消防、救急及び救助活動を一層効果的に行えるよう部隊間で連携し災害対応能力の向上を図ります。